

第1回景気ウォッチャー調査研究会 議事概要

- 1 日時：令和7年6月23日（月）14：00～16：00
- 2 場所：中央合同庁舎8号館 1326 会議室（ウェブ会議システムを併用）
- 3 出席者
 - （1）委員（座長以外は五十音順）
宅森昭吉座長、岩下真理委員、鈴木将之委員、土屋隆裕委員、
広田茂委員、前田和馬委員、大和香織委員
 - （2）発表者、オブザーバー
大守隆 元内閣府政策参与
岩田賢 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社副主任研究員
 - （3）内閣府
林伴子政策統括官、堤雅彦官房審議官、
木村順治参事官、菊地康之参事官補佐、坂口博紀参事官補佐
- 4 議事概要
内閣府による冒頭説明、大守氏による発表の後、議論を行った。主な意見は以下のとおり。
 - ・近年伸びているネット消費や決済関連サービスの扱いについて、検討が必要ではないか。
 - ・本調査のテキスト情報を用いてAIを活用した分析を事後的に行うこととしてはどうか。
 - ・その時々の特ピックを追加調査することはできないか。
 - ・地方の大きな工場の閉鎖や、アウトレットパークの開業などによる人流の変化の影響を考慮する必要はないか。
 - ・ウォッチャーの選定（交代）は、判断傾向と個人の属性などの統計的な関係を検証して行うことを考えても良いのではないか。
 - ・レジャー施設関連について、若い人はライブハウスやスポーツ観戦などに行くことも多い。そうした人が多く集まる場所を新たに候補に入れても良いかもしれない。
 - ・月末の忙しいタイミングで回答いただくため、回答率向上の工夫は必要。

（以上）